Ⓑ

令和３年度　第１次試験問題

財務・会計

１日目　11：30～12：30

＊試験開始前に、次の事項を必ずご確認ください。

電卓、携帯電話やスマートフォン、ウエアラブル端末(スマートウオッチ等)などの通信機器・電子機器は、机上に置くことも、身に着ける(ポケット等に入れる)ことも、使用することもできません。試験開始前に必ず電源を切った上でバッグなどにしまってください。

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙に触れてはいけません。
2. マークシートについての注意事項は次のとおりです。
これらの事項を守らない場合、採点されませんので、注意してください。
(1) HBまたはBの鉛筆またはシャープペンシルを使用して、○部分をはみ出さないように、正しくマークしてください。鉛筆またはシャープペンシル以外の筆記用具を使用してはいけません。

良い例	悪い例				
●	⊖	▨	⊗	⊙	◍ うすい

(2) 解答は選択肢(解答群)から１つ選び、所定の解答欄にマークしてください。
(3) 解答を修正する場合は、プラスチック製の消しゴムで消しあとが残らないようにきれいに消して、消しくずをマークシートから払い落としてください。
(4) マークシートに必要事項以外を記入してはいけません。
(5) マークシートを汚したり、折ったりしないように注意してください。
(6) マークシートは、必ず提出してください。持ち帰ることはできません。
3. 監督員の指示に従って、マークシートの所定欄に、受験票記載の受験番号と生年月日を、注意事項を参照の上、記入、マークしてください。記入、マークが終わったら再確認をして、筆記用具を置き、試験開始の合図があるまでお待ちください。
4. 試験開始後30分間および試験終了前５分間は退室できません。(下記参照)
5. 試験終了の合図と同時に必ず筆記用具を置いてください。試験終了後にマークや記入、修正をしてはいけません。
6. マークシートの回収が終わり監督員の指示があるまで席を立たないでください。
7. 試験時間中に体調不良などのやむを得ない事情で席を離れる場合には、監督員に申し出てその指示に従ってください。
8. その他、受験に当たっての注意事項は、受験票裏面などを参照してください。

＜途中退室者の方へ＞

試験開始後30分を経過してから終了５分前までの間に退室する場合は、マークシートと受験票を監督員席まで持参して、マークシートを提出してから退室してください。なお、その際には、問題用紙も、表紙の下部に受験番号を記入した上であわせて持参してください。途中退室時は問題用紙を試験室から持ち出すことはできませんので、問題用紙も監督員が回収します。

問題用紙は、当該科目の試験終了後に該当する受験番号の席に置いておきますので、必要な方は当該科目の試験終了後20分以内に取りに来てください。それ以降は回収します。回収後はお渡しできません。なお、問題用紙の紛失については責を負いませんのでご了承ください。

(途中退室する場合は、下の欄に受験番号を必ず記入してください。)

受験番号：

Ⓑ

第1問

得意先への商品販売時に、10日以内に代金を支払えば2％の支払いを免除するという条件をつけた。その売掛金200,000円を販売から9日目に回収するにあたり、条件を適用した金額を小切手で受け取った。

この取引を仕訳するとき、以下の空欄に入る語句として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

(借)現	金	196,000	(貸)売	掛	金 200,000
売上	[　　]	4,000			

〔解答群〕

ア　控除

イ　値引

ウ　割引

エ　割戻

第 2 問

本支店会計において本店集中計算制度を採用している場合、Ａ支店がＢ支店の買掛金 200,000 円について小切手を振り出して支払ったときの本店の仕訳として、最も適切なものはどれか。

ア　(借)Ａ支店　200,000　　(貸)Ｂ支店　　200,000
イ　(借)Ｂ支店　200,000　　(貸)Ａ支店　　200,000
ウ　(借)買掛金　200,000　　(貸)当座預金　200,000
エ　(借)現　金　200,000　　(貸)買掛金　　200,000

第 3 問

備品(取得日：2018 年 4 月 1 日、取得原価：800,000 円、償却方法：定率法(償却率年 25 %)、記帳方法：間接法、決算日： 3 月 31 日)が不要となり、2020 年 3 月 31 日に除却した。なお、除却した備品の評価額は 250,000 円である。

固定資産除却損として、最も適切なものはどれか。

ア　100,000 円
イ　150,000 円
ウ　200,000 円
エ　250,000 円

第 4 問

のれんに関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　自己創設のれんは、時価などの公正な評価額が取得原価となる。
イ　のれんは取得後、5 年以内に毎期均等額以上の償却をしなければならない。
ウ　のれんは被買収企業の超過収益力に対する対価とみなされる。
エ　負ののれんが発生した場合、当該期間の特別損失とする。

第 5 問

負債性引当金は、債務である引当金(債務性引当金)と債務ではない引当金(非債務性引当金)に分類される。非債務性引当金として、最も適切なものはどれか。

ア　貸倒引当金
イ　修繕引当金
ウ　商品保証引当金
エ　退職給付引当金

第 6 問

収益に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　検収基準は、契約の解消や返品リスクがない場合に採用される。
イ　出荷基準よりも収益認識のタイミングが早いのは、引渡基準である。
ウ　長期請負工事については、工事進行基準を適用しなければならない。
エ　販売基準は実現主義に基づいている。

第 7 問

以下の資料は、工場の 2020 年 8 月分のデータである。このとき、製造指図書 #11 の製造原価として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

【資　料】

⑴　直接費

製造指図書	材料消費量	材料単価	直接作業時間	賃　　率
#11	50 kg	@ 2,000 円／kg	100 時間	1,200 円／時
#12	60 kg	@ 2,500 円／kg	110 時間	1,200 円／時
#13	50 kg	@ 1,500 円／kg	90 時間	1,200 円／時

⑵　間接費

製造間接費実際発生額：150,000 円

製造間接費は直接作業時間を配賦基準として各製品に配賦する。

〔解答群〕

ア　220,000 円

イ　228,000 円

ウ　270,000 円

エ　337,000 円

第 8 問

ある製品の販売予算が以下のとおり編成されており、第 3 四半期(Q3)の実際販売量が 1,600 個、実際販売価格が 98,000 円であった。予算実績差異を販売数量差異と販売価格差異に分割する場合、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

	Q1	Q2	Q3	Q4	合 計
販売量(個)	1,200	1,400	1,500	1,400	5,500
売上高(万円)	12,000	14,000	15,000	14,000	55,000

〔解答群〕

ア　販売数量差異 1,000 万円(不利差異)と販売価格差異 300 万円(不利差異)

イ　販売数量差異 1,000 万円(不利差異)と販売価格差異 320 万円(不利差異)

ウ　販売数量差異 1,000 万円(有利差異)と販売価格差異 300 万円(不利差異)

エ　販売数量差異 1,000 万円(有利差異)と販売価格差異 320 万円(不利差異)

第 9 問

キャッシュフローが増加する原因として、最も適切なものはどれか。

ア　売掛金の減少

イ　仕入債務の減少

ウ　棚卸資産の増加

エ　長期借入金の減少

第10問

以下の貸借対照表と損益計算書について、下記の設問に答えよ。

貸借対照表(2020 年度末)　　(単位：千円)

資産の部		負債および純資産の部	
Ⅰ　流動資産	40,000	Ⅰ　流動負債	50,000
現金・預金	2,000	Ⅱ　固定負債	34,000
受取手形・売掛金	16,000		
商品	9,000	Ⅲ　純資産	
その他	13,000	株主資本	66,000
Ⅱ　固定資産	110,000		
資産合計	150,000	負債・純資産合計	150,000

損益計算書(2020 年度)　(単位：千円)

Ⅰ　売上高	220,000
Ⅱ　売上原価	160,000
売上総利益	60,000
Ⅲ　販売費・一般管理費	50,000
営業利益	10,000
Ⅳ　営業外収益	
受取利息	4,000
Ⅴ　営業外費用	
支払利息	1,000
その他	1,000
税引前当期純利益	12,000
法人税、住民税及び事業税	3,600
当期純利益	8,400

（設問１）

固定長期適合率として、最も適切なものはどれか。

ア　60 %

イ　110 %

ウ　150 %

エ　167 %

（設問２）

インタレスト・カバレッジ・レシオとして、最も適切なものはどれか。

ア　4 倍

イ　11 倍

ウ　12 倍

エ　14 倍

第11問

建築物の設計・監理を請け負っている当社では、顧客から依頼のあった案件について建物の設計を行っている途中で、給料 100,000 円および出張旅費 30,000 円が当該案件のために費やされた。

この取引を仕訳する場合、借方科目として、最も適切なものはどれか。

ア　役務原価
イ　役務収益
ウ　仕入
エ　仕掛品

第12問

損益分岐点分析に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　安全余裕率は、損益分岐点比率の逆数である。
イ　損益分岐点売上高は、固定費を変動費率で除して求められる。
ウ　損益分岐点比率は小さいほど赤字になるリスクが低い。
エ　目標利益達成のための売上高は、損益分岐点売上高に目標利益を加算して求められる。

第13問

9月中に予定される取引に関する以下の資料に基づき、最低限必要な借入額として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。なお、当月中現金残高が300,000円を下回らないようにするものとする。

【資　料】

9月 1日　月初の現金有高は400,000円である。

6日　売掛金300,000円を現金で回収する。

12日　備品1,200,000円を購入し、代金のうち半額は現金で支払い、残額は翌月15日に支払う。

21日　商品を1,400,000円で販売する。代金は掛けとし、回収は翌月20日とする。

25日　給料その他の費用500,000円を現金で支払う。

〔解答群〕

ア　200,000円

イ　400,000円

ウ　700,000円

エ　1,300,000円

第14問

資金調達の形態に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　株式分割は直接金融に分類される。

イ　減価償却は内部金融に分類される。

ウ　増資により発行した株式を、銀行が取得した場合は間接金融となる。

エ　転換社債は、株式に転換されるまでは負債に計上されるので間接金融である。

第15問

以下の資料に基づき計算した加重平均資本コストとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。なお、負債は社債のみで構成され、その時価は簿価と等しいものとする。

【資　料】

株価	1,200 円
発行済株式総数	50,000 株
負債簿価	4,000 万円
自己資本コスト	12 %
社債利回り	4 %
実効税率	30 %

〔解答群〕

ア　6.16 %

イ　7.68 %

ウ　8.32 %

エ　8.80 %

第16問

株主還元に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　自社株買いを行うと当該企業の純資産が減少するため、売買手数料をゼロとすれば株価は下落する。

イ　自社株買いを行った場合、取得した株式は一定期間のうちに消却しなければならない。

ウ　配当額を自己資本で除した比率を配当利回りという。

エ　有利な投資機会がない場合には、余裕資金を配当などで株主に還元することが合理的である。

第17問

モジリアーニとミラーの理論(MM 理論)に基づく資本構成に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　自己資本による資金調達はコストが生じないので、負債比率が低下するほど企業価値は増加する。

イ　倒産リスクの高低は、最適資本構成に影響する。

ウ　負債比率が非常に高くなると、自己資本コストは上昇するが、負債コストは影響を受けない。

エ　法人税が存在する場合、負債比率の水準は企業価値に影響しない。

第18問

当社はある機械の導入の可否を検討している。この機械の導入により、年間の税引前キャッシュフローが2,000万円増加する。また、この機械の年間減価償却費は900万円である。

実効税率を30％とするとき、年間の税引後キャッシュフローはいくらになるか。最も適切なものを選べ。

ア　870万円
イ　1,100万円
ウ　1,670万円
エ　2,030万円

第19問

当社は設備Ａ～Ｃの導入を比較検討している。各設備の初期投資額ならびに将来の現金収支の現在価値合計は、以下のとおりである。

正味現在価値法を用いた場合と、収益性指数法を用いた場合で、それぞれどの設備への投資案が採択されるか。最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。なお、設備Ａ～Ｃへの投資案は相互排他的である。

	初期投資額	現金収支の現在価値合計
設備Ａ	4,400 万円	5,500 万円
設備Ｂ	5,000 万円	6,500 万円
設備Ｃ	4,000 万円	5,400 万円

〔解答群〕

ア　正味現在価値法：設備Ａ　　収益性指数法：設備Ｂ

イ　正味現在価値法：設備Ａ　　収益性指数法：設備Ｃ

ウ　正味現在価値法：設備Ｂ　　収益性指数法：設備Ｂ

エ　正味現在価値法：設備Ｂ　　収益性指数法：設備Ｃ

オ　正味現在価値法：設備Ｃ　　収益性指数法：設備Ｂ

第20問

証券投資論に関する記述として、最も適切なものはどれか。ただし、投資家はリスク回避的であり、安全資産への投資が可能であるものとする。

ア　効率的フロンティアは、安全資産より期待収益率の高いポートフォリオすべての集合である。
イ　最適なリスク・ポートフォリオは、投資家のリスク回避度とは無関係に決まる。
ウ　市場ポートフォリオの有するリスクは、すべてのポートフォリオの中で最小である。
エ　投資家のリスク回避度は、効率的フロンティアに影響を与える。

第21問

D社の次期(第2期)末の予想配当は1株44円である。その後、次々期(第3期)末まで1年間の配当成長率は10％、それ以降の配当成長率は2％で一定とする。なお、自己資本コストは10％である。

当期(第1期)末の理論株価として、最も適切なものはどれか。

ア　540円
イ　590円
ウ　645円
エ　649円

第22問

企業価値評価に関する以下の文章を読んで、下記の設問に答えよ。

企業価値評価の代表的な方法には、将来のフリー・キャッシュフローを［ A ］で割り引いた現在価値（事業価値）をベースに企業価値を算出する方法である［ B ］法や、会計利益を割り引いた現在価値をベースとして算出する収益還元法がある。

これらとは異なるアプローチとして、類似の企業の評価尺度を利用して評価対象企業を相対的に評価する方法がある。利用される評価尺度は［ C ］と総称され、例としては株価と１株当たり純利益の相対的な比率を示す［ D ］や、株価と１株当たり純資産の相対的な比率を示す［ E ］がある。

（設問１）

文中の空欄ＡとＢに入る語句および略語の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

ア　A：加重平均資本コスト　　B：DCF
イ　A：加重平均資本コスト　　B：IRR
ウ　A：自己資本コスト　　B：DCF
エ　A：自己資本コスト　　B：IRR

（設問２）

文中の空欄Ｃ～Ｅに入る語句および略語の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

ア　C：ファンダメンタル　　D：EPS　　E：BPS
イ　C：ファンダメンタル　　D：PER　　E：PBR
ウ　C：マルチプル　　D：EPS　　E：BPS
エ　C：マルチプル　　D：PER　　E：PBR

第23問

オプションに関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　他の条件を一定とすれば、権利行使価格が高いほどコール・オプションの価値は高くなる。

イ　他の条件を一定とすれば、行使までの期間が短いほどコール・オプションの価値は高くなる。

ウ　プット・オプションを購入した場合、権利行使価格を大きく超えて原資産価格が上昇しても、損失の額はプレミアムに限定される。

エ　プット・オプションを売却した場合、権利行使価格を大きく下回って原資産価格が下落しても、損失の額はプレミアムに限定される。